

1. 注記の編集

注記の文字列などを変更する機能を追加しました。

以下、操作説明書「3.1. 要素パネルでの編集」からの抜粋です。

選択されている要素の情報を[要素]パネルに表示します。このパネルで、分類コード、図形区分、間断区分の変更ができます。パネル上で、それぞれの項目を変更した後、[変更]ボタンを押すことにより、要素の情報を変更します。分類コードを入力後、エンタキーでも変更できます。分類コードに対応する名称を下の「名称」欄に表示します。他の項目については、現在、表示するだけとなっています。

【注記編集】選択されている注記の編集です。注記の文字列に全角と半角が混在する場合、全て全角に変換して記録します。文字列の字数が変わった場合、3Dパネルでの表示で文字幅が変わる現象がありますが、表示の問題で、注記データ自体の問題ではありません。

【間断区分を0にする】選択されている要素の間断区分を0(間断しない)にします。間断区分が0以外の場合、このボタンが使えます。

【図形区分を表現補助データ(99)】選択されて要素の図形区分を表現補助データ(99)にします。

【点(E5)を方向(E6)に変換する】点を角度が0の方向に変換します。

位置を示す座標から方向を示す座標までの距離は5mとしています。

【線(E2)を方向(E6)に変換する】頂点数2の線(E2)を方向(E6)に変換します。

【左90度、右90度など】方向(E6)が選択されている場合に使えます。方向を回転します。